

徳島県初 児童思春期ショート・ケア「INFINITY」の紹介

<報道概要>

徳島大学病院精神科神経科では、子どものメンタルヘルスに対する医療ニーズの高まりに応えるため、令和6年8月より、10代の方を対象とした児童思春期ショート・ケア「INFINITY」を開設しました。児童思春期に特化した精神科ショート・ケアは県内初の試みとなります。

当科では、他者との関わりを好む子、一人での創作活動を好む子など、様々な嗜好や個性を尊重し、それぞれに合った居場所を提供しています。このような居場所を通して、家庭・学校・診察室では見られない子どもの一面を引き出し、心の回復を支えています。

精神疾患に罹患する方のうち、75%が25歳未満で発病と言われています。令和4年度からは、およそ40年ぶりに、高校の保健体育の全ての教科書に「精神疾患の予防と回復」に関する内容が記載されるなど、社会全体で精神疾患の知識の普及と理解が進んできています。

一方、少子化が進む中、通級による指導を受ける児童数や不登校児童数、10代の自殺者数はいずれも増加傾向を示しており、児童思春期世代のメンタルヘルスの向上・回復を目的とする医療的な支援がこれまで以上に強く求められています。

徳島大学病院精神科神経科には、県内の「一般社団法人子どものこころ専門医機構認定 子どものこころ専門医」6名のうち3名が在籍しており、児童思春期の外来治療及び入院治療に力を入れています。そして、令和6年8月より10代の方を対象とした児童思春期ショート・ケア「INFINITY」を開設しました。児童思春期に特化した精神科ショート・ケアは県内初の試みです。

当院で提供するプログラムでは、他者との関わりを好む子、一人での創作活動を好む子など、様々な嗜好や個性を尊重し、創作、料理、ゲーム、運動、認知行動療法など多彩な取組を行っています。こうした多様なプログラムを通じて、家庭・学校・診察室などでは見られない子どもの一面を引き出し、心の回復を支えています。

お問い合わせ先

徳島大学病院精神科神経科

助教 山田 直輝

電話番号 088-633-7130

メールアドレス yamada.naoki@tokushima-u.ac.jp